

事務事業名		森林バイオマスエネルギー事業		所属部	農林振興部	所属課	林業畜産課	
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>		所属G	林業グループ	課長名	杉原律雄	
	施策名	(37)林業の振興		担当者名	加藤信也	電話番号	0854-40-1050	
	目的	対象	市内の森林	意図	適正に森林を整備、保全し、森林資源を活用する。	(内線)	2411	
	基本事業名	(113)森林資源の活用		予算科目	会計	款	大事業	大事業名
目的	対象	市内の森林	意図	木材資源を活用する。	項目	中事業	中事業名	森林バイオマスエネルギー事業

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (24年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
森林資源の活用方法として、市内森林の林地残材を化石燃料(灯油等)の代替燃料(木質チップ)に利用することで林業需要の創出や森林整備を図っていく。 また、この林地残材の収集を市民参加のもとで、収集対価に地域通貨を利用することで地域経済の活性化を図っていく。	

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動						
	28年度実績(28年度に行った主な活動)	29年度計画(29年度に計画する主な活動)					
	■森林バイオマスエネルギー事業委託 ・事業システム管理業務 ・地域通貨「里山券」管理業務 ・地域通貨「里山券」換金 ・林業講習会の開催 ・登録者実態調査		■森林バイオマスエネルギー事業委託 ・事業システム管理業務 ・地域通貨「里山券」管理業務 ・地域通貨「里山券」換金				
	② 活動指標		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア	市民参加型収集運搬登録者	人	267	303	304	350
	イ	市民参加型収集材積	t	1,215	1,224	1,172	1,500
	ウ						
	エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	雲南市内の森林		ア	雲南市森林面積	ha	43,541	43,541	43,541	43,541
			イ						
			ウ						
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	木材生産量を拡大する。		ア	木材生産量	m ³	31,693	23,876	27,433	30,000
			イ	市有林の整備面積	ha	48	71	86	50
			ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)		② コストの推移		単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
■森林バイオマスエネルギー事業委託 事業費:9,343千円 業務内容 ・事業システム管理業務 ・地域通貨「里山券」管理業務 ・地域通貨「里山券」換金 ・林業技術講習会の開催 ・登録者実態調査(意見交換会)		事業費内訳	国庫支出金	千円				
			県支出金	千円				
			地方債	千円	9,700	9,400	9,300	
			その他	千円		787		
		一般財源	千円	88	84	43	9,828	
		事業費計(A)	千円	9,788	10,271	9,343	9,828	
		正規職員従事人数	人	3	3	3		
		延べ業務時間	時間	938	1,125	938		
		人件費計(B)	千円	3,647	4,403	3,721		
		トータルコスト(A)+(B)	千円	13,435	14,674	13,064		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
島根県内において再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用したバイオマス発電所が松江と江津で稼働を開始したことにより、チップ原料となる林地残材の需要が高まり、取引価格も高騰してきている。	バイオマス用チップ原木確保のため、森林バイオマス推進事業補助金における林地残材活用推進事業の補助単価を1,500円/トンから3,000円/トンに引き上げたことで、森林組合からの搬出が促進された。	未利用間伐材の利活用や地域経済の活性化、公共施設の維持管理経費の削減などが必要とされている。

事務事業名	森林バイオマスエネルギー事業	所属部	農林振興部	所属課	林業畜産課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	平成25年度から、市内全域を対象として事業運営を行っており、事業登録者も年々増加している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	再生可能エネルギーによる循環型社会の構築のため継続は不可欠である。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	類似事業はない。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	市民周知のための事業PR、講習会の継続開催による安全対策などもまだまだ必要であり、これ以上の削減余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	適切で計画的な事務事業実施に努めているため削減は出来ない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	市内全域の森林を対象として実施しており公平である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成28年度については、市民参加型収集運搬システムによる収集目標を1,500トンに設定し取り組んだが、実績は1,172トンと達成に至らなかった。現在、チップボイラーが稼働する4施設(満寿の湯、三刀屋健康福祉センター、おろち湯ったり館、市庁舎)へのチップ供給にかかわる林地残材は、森林組合等からの搬出分をあわせ確保できている。		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
<p>今後、新たに市立病院等にチップボイラーの整備が予定されていることから、既存施設を含め木質チップの安定供給が図れるよう、引き続き事業のPRを積極的に行い、事業への市民参画の促進を図って行く必要がある。</p> <p>登録者のグループ化の推進や、効率的な搬出、運搬方法の検討、林業技術講習会による技術向上等により、搬出量の増加を目指す。</p> <p>今後のチップ需要を考慮した場合、市民による搬出材のみでは対応が困難であるため、森林組合等との連携により原木の安定確保とチップ供給サイクルの確立をしていかなければならない。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。</p> <p>コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		